

弓立牧場で見て、聞いて 小3



3年生は年間を通して美山のお宝を探し続けています。3学期は長年にわたって美山の特産品として愛されている美山牛乳について調べました。

まずは長谷にある弓立牧場へ見学に行き、今井さんにお話をうかがいました。毎日の給食で当たり前のようにならされていた美山牛乳について、もっと知りたいと思いました。



美山牛乳のひみつ、作り手に教わる！

牧場で大切に飼育されている牛から、美山牛乳のもととなる原乳が搾乳される様子を教えていただいた子どもたち。今度は美山ふるさと株式会社から竹村さんにお越しいただき、美山牛乳が完成するまでの工程を学びました。



牧場から運ばれた原乳から美山牛乳ができるまで、美山牛乳のおいしさのヒミツは何か？大切にされていること、こだわりは何か？美山牛乳と他の牛乳の違いはどこにあるのかなど、詳しく教えていただきました。美山牛乳の魅力が、ますます深まりました。



BTV 南丹市美山観光まちづくり協会に聞く、美山町の観光は今…？ 小5

5年生は美山町の産業のひとつとなっている、観光について調べています。かやぶきの里や、芦生の森をはじめとする観光資源が豊富なわたしたちのまち美山町について、南丹市美山観光まちづくり協会の高御堂さんからお話をうかがいました。

美山町の観光が、地域と人と自然のかかわりを大切にしながら取り組んできたこと、それが持続可能な観光の在り



方として、昨年12月に国連世界観光機関が選定するベストツーリズムビレッジに選ばれ、世界的に認められたことを知りました。そんな美山町の観光の魅力を活かせるように、5年生なりのモデルプランを考え、グループごとにツアーを作成しています。これらのプランが、いつか実際に販売される日が来るかも知れませんね。



続！ 10年後の美山の農業を考察する

小5



美山の農業について、実際に農業に従事されている多くの方にお話をうかがってきた5年生。グループごとに、さまざまな視点から10年後の美山の農業のあり方を考察して、スライドにまとめました。ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。



熟議から次のステップへ



地域みんなで美山の子どもの未来を考えるワークショップ（第8回熟議）

食をテーマに地域の方(大人たち、保護者含む)と子どもたちが一緒に考える！

お弁当プロジェクトのチラシ

美山の特食色を活かしたお弁当プロジェクト

コロナ禍で食にまつわる行事やイベント、学校での調理実習などさまざまなことが制限されています。そんな中、黙食という言葉が浸透するほどに、食に関わるものごとが大きく変化してきています。

熟議の中で、子どもたちに学ばせたいこととして特に多くあげられたうちのひとつは、美山の伝統食や農産物といった食にまつわるものでした。そこで、学校運営協議会の今年の熟議のテーマは、コロナ禍だからこそ多くの制限下におかれている食について、あえて考える機会を作ることになりました。

お弁当プロジェクトと題して、授業参観を活用して地域の方、保護者、子どもたちが一緒になって美山の食、自分たちの食について考える予定でしたが、参観が中止となったため熟議は延期となりました。次年度以降に開催を計画したいと思いますので、ご期待ください。

祝

6年生へ卒業

車椅子体験から学ぶユニバーサルデザイン



4年生は総合的な学習の時間で、福祉について学習しています。3学期は、身の回りのユニバーサルデザインについて学びました。その一環として、社会福祉協議会の協力により車椅子体験をしました。狭い通路や段差の

ある道、ボタンに手が届かない自動販売機など、日々何気なく生活している場所を車椅子で体験しました。

思った以上に車椅子の扱いが難しいことに加えて、少しの段差や高いところに手を伸ばすこ



とが、車椅子に乗ると急に難しくなることに多くの子どもが気付いていました。

学校の中、家の中、街の中でのユニバーサルデザインに気付いたところから、誰もが過ごしやすい社会について、深く考えるきっかけになったのではないかと思います。

4年生は美山の福祉について学習する中で、美山こびしの里のみなさんと交流をしてきました。オンラインではありましたが、とても楽しい時間を過ごすことができ、子どもたちも交流を通して多くのことを学びました。

そんなつながりから、今年の卒業生へ向けて、こびしの里の皆さんから手作りのお祝いの品を送っていただきました。素敵なお祝いをありがとうございます。



学校生活や美山学について HP で紹介中

